

令和4年度

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			2つの訓練室を使い分けている。 他のデイサービスより、広く、部屋数も多い。 利用児の年齢や障がい特性により使い分けができることが強み
	2	職員の配置数は適切であるか	7			過剰なくらいいる。 基準配置より、かなり多め。手厚い支援ができる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1	1	トイレや、実習室の出入り口はフラットにしてある。 利用者の障がいレベルに合わせてしている。 トイレが広く、介助がしやすい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			毎日の昼礼にて、意見交換をしている。 非常勤・常勤職員からの意見を取り入れるようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		1	評価表だけでなく、保護者との面談や独自アンケートからも意向を把握している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	3	義務化されていないため、実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			毎月、実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			個別支援計画書の立案時に、必ず保護者との面談を実施の上、計画を立てている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		1	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			非常勤職員からの意見を取り入れながら、常勤職員が主となり立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			大元のもの、固定化されているが内容は変えている。 運動、SST、外出、音楽等様々な内容を取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6		1	大まかには、ねらいや課題を設定している。 休日や長期休暇には、平日には時間的制約等で取り組めないプログラムを取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		3	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			簡易的であるが記録している。 利用者への連絡帳にて、事業所のサービス提供記録を兼ね、詳細に記録している。 送迎時間でもある為、終了後の打ち合わせはしないが、伝達できるツールはある。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7				
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			1	主に施設長が出席している。通常出勤時間内であれば、児発管も出席している。

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2		4	該当しない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	2	所属していたのが大分前で時間が経っているため、話す機会がない。主にお迎え時に行っている。必要に応じて、中央療育センターへの見学をしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1	4	該当する児童はいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	2	中央療育センターの相談員から必要に応じて助言を頂いている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	1	2	公共の公園を利用し、障がいのない子どもと関わっている。公園遊びの活動中、近隣の学童の児童や偶々居合わせた子どもとの交流がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	3	3	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			日々の利用者への連絡帳で詳細に伝えている。連絡帳に書面として残すべきでないものは、保護者の心情を察した上で、その日のうちに電話で伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	2	職員の支援方法での成功策は保護者にも伝え、家庭でも、実践して頂くようにお伝えしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		1	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		1	保護者とメールや電話、連絡帳、送迎時を通して、相談しやすい体制を整えており、可能な限り早めの連絡、対応を心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3		4	希望者には行っている。全員に対しての案内は出していない。一部の保護者には実施できたが、他の保護者にも広めていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		1	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		1	今年度から『こもれびだより』の発行を始め、保護者に運営方針や活動の様子を伝えるようにしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	6		1	相互の利用者が映る写真を送る承認を頂いているご家庭以外には、個人写真のみを送る等注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		1	各保護者やご家庭について、家庭訪問等で理解できるよう努め、コミュニケーションの方法に十分配慮するよう心がけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	3	コロナ禍で難しい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6		1	保護者への周知が課題。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			利用者が飽きないように工夫して行っている。月に一回実施している。	

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			該当児童については、個別支援計画書に記載の上、保護者に説明し承諾を頂いている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		該当する児童がいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			